

糸魚川市子ども読書活動の取り組み 令和6年度実績報告

第3次糸魚川市子ども読書活動推進計画について

糸魚川市では、子どもたちが本に親しみながら成長し、たくさんの素晴らしい本に出会えるよう、生まれる前から18歳になるまでの期間を成長段階に応じて切れ目なく支援するため、令和6年3月に「第3次糸魚川市子ども読書活動推進計画」を策定しました。本年度はこの計画に基づき、以下の取り組みを実施しました。

ブックスタート事業

絵本を通じた親子のふれあいを大切にしてほしいとの願いから、家庭での読み聞かせのきっかけや絵本に親しむ体験となるよう、司書が選んだおすすめ絵本の中から好きな1冊をプレゼントしています。今年度の配布リストは別紙のとおりです。

① 事業概要と実績一覧

事業名	実施時期	場所	内容	実施回数／配布人数
プレブックスタート ※	母子手帳交付時	市役所こども課窓口等	絵本の紹介・保護者への啓発	120回／120人
ブックスタート	10か月児健診時	糸魚川保健センター	絵本の紹介、読み聞かせ、保護者への啓発	11回／125人
セカンドブックスタート ※	2歳児健診時			12回／158人

※プレブックスタートとセカンドブックスタートは令和6年度開始

計画を策定する中で、子どもの読書離れ(特に小学校高学年以上)が進んでいる現状から、幼少期に絵本に触れる体験が重要であり、保護者の意識醸成のための啓発が必要という意見をいただき、これまで10か月児健診でのみ実施していた「ブックスタート」を拡充しました。

② 事業の様子

ブックスタート(10か月児健診)



セカンドブックスタート(2歳児健診)



③ 成果と課題

令和7年1月から3月に実施したブックスタート及びセカンドブックで、対象となる保護者に対し、簡単なアンケートを実施しました。平成24年から開始したブックスタートですが、「上の子の時にもいただきました。」「気に入って読んでいます。」等のお声をいただき、事業が定着していると感じました。

10か月児の頃は保護者が絵本を選ぶことがほとんどですが、2歳児は自分の興味や関心が出てくるため、子どもが自分で選んだ絵本をお家で読むことを楽しみに、大切そうに持ち帰る姿を見ることが出来ます。そのような姿を見ることは、保護者の「絵本を読んであげたい」という気持ちに結び付くと感じています。

プレブックスタートでは、絵本を通した親子の触れ合いの大切さをお伝えし、お腹の赤ちゃんはお父さんやお母さんの声を聞いているため声に出して読んでいただくことをお勧めしています。今後はプレブックスタートの成果について、検証方法を検討していきます。

絵本作家による絵本ふれあい講演会

親子で図書に親しむきっかけづくりとして、絵本作家を講師に迎え、ワークショップを実施しました。

① 事業概要

件名：『絵本作家岡村志満子さんと おめめぱちぱちがいこつさんのポップアップカードを作ろう！』

講師：絵本作家 岡村 志満子(おかむら しまこ)氏

日時：令和7年2月15日(土)

第一部 10時00分～12時30分、第二部 14時00分～16時30分

場所：青海総合文化会館(きらら青海) カルチャールーム(大)

内容：・講師と絵本専門士(朝日仁美氏)による読み聞かせと絵本の紹介

・ポップアップカードづくり

*終了後、地元書店による絵本の販売と岡村さんのサイン会を実施。

② 事業実績

参加者：午前の部 26人(大人11人、こども15人)

午後の部 21人(大人8人、こども13人) 合計 19組 47人

ボランティア：7人(読み聞かせ団体より)

③ 事業の様子



④ 成果と課題

講師である岡村志満子氏は、絵本作家で、グラフィックデザイナーやイラストレーターとしても活躍されており、当日は絵本のほかにご自身の作品を会場に展示してくださいました。作品やワークショップの材料の並べ方(魅せ方)を工夫してわくわく感を演出したり、プロが使用する道具を紹介するなど、参加者の気持ちが高まる工夫を凝らしていただきました。

制作の難易度としては、参加対象年齢に合った比較的易しい仕掛けを用意していただきました。どの参加者も創意工夫を凝らし、オリジナリティあふれるガイコツさんを作り上げていました。

ワークショップの前に関連する絵本の紹介や読み聞かせを実施したことで、絵本の魅力を感じる事業になったと思います。今回は小学生以下を対象に実施しましたが、保護者が熱中する様子もみられたため、次回は参加対象の拡大を検討します。

うちどくブックリスト

家族で本を読んでコミュニケーションし、家族の絆づくりをすることを目的とした「家読(うちどく)」を推進するため、うちどくブックリストを作成し、図書館に設置しました。ブックリストの本は図書館の司書が選書し、対象年齢別に紹介しています。リストは「はる・なつ」と「あき・ふゆ」の2回更新します。

おはなし会

子どもの読書への関心を高めるとともに、図書館を利用するきっかけづくりとするため、おはなし会を通年開催しました。

① 事業概要と実績一覧 ※実績は3月17日現在

事業名	開催日時	場所	内容	実施回数/参加者数
おはなし会	毎月第2・第4土曜日 午前10時30分～	市民図書館 (おはなし室)	書館職員による絵本の読み聞かせ	23回/90人
おはなしランド	毎月第2・第4土曜日 午前10時30分～	能生児童館	読み聞かせボランティアによる絵本の読み聞かせ	17回/239人
親子文庫アイ アイ	毎月第2木曜日 午前10時30分～	青海総合文化会館(2階リハーサル室)	乳幼児と保護者を対象とした絵本の読み聞かせ、紙芝居、リズムあそびなど。	11回/91人
土よう子ども会	毎月第2土曜日 午前10時30分～	青海図書館 (絵本の部屋)	絵本の読み聞かせ、遊びなど。	12回/98人

② 成果と課題

読み聞かせボランティアの協力のもと、通年開催することができています。子どもと保護者に読書や絵本に親しんでもらえるよう、引き続き実施していきます。今年度は高校生ボランティアを募集し、延べ12名の高校生が読み聞かせを行いました。継続実施のためには、ボランティアの方の協力が欠かせません。ボランティアの育成や、活動団体への橋渡しが今後の課題です。

図書館イベント

来館のきっかけづくりや、図書館を身近に感じてもらうため、イベントを実施しました。

① 事業概要と実績一覧

イベント名	開催日	内容	場所	参加者数
春の子ども読書週間～ぼく、わたしの夢の本棚～	「夢」の募集募集：4/2～20 本の展示：4/23～5/31	利用者から「夢」を募集し、集まった「夢」に関連する本を展示する。	市民図書館 能生図書館 青海図書館	24人 23人 22人
図書館で遊ぶボードゲーム	① 5/11(土) ② 9/28(土) ③ 11/9(土) ④ 1/11(土)	カードゲームやボードゲームの実施と関連する本の紹介。	市民図書館	① 27人 ② 11人 ③ 22人 ④ 20人
ぬいぐるみのおとまり会	6/15(土)	ぬいぐるみが図書館のお仕事をする様子をアルバムにしてプレゼントする。	市民図書館 青海図書館	16人 14人
こども図書館員	8月7日(水)～9日(金)	本の貸し出しや返却、POP作成など、図書館のお仕事を体験する。	市民図書館 能生図書館 青海図書館	4人 2人 2人
ファミリーセットの貸し出し	10/27(金)～11/9(土)	家族で読めるおすすめ図書のセットを、テーマ別に用意し貸し出す。読んだ本の感想文を募集する。	市民図書館 能生図書館 青海図書館	貸出：20人 感想文：24枚 貸出：9人 感想文：11枚 貸出：20人 感想文：24枚
冬の図書館おたのしみ工作	12/7(土)、12月14(土)	冬のグリーティングカードづくり	市民図書館 能生図書館 青海図書館	21人 12人 16人

② 成果と課題

どの事業も参加者からは好評をいただきました。「こども図書館員」は定員が少ないため参加者数が少ないですが、書庫など普段見られない所を見ることができると人気のあるイベントです。イベントの多くは未就学児から小学生が対象であり、今後は中学生や高校生を対象としたイベントの実施も検討していきます。イベントの参加から、図書館の利用や本の貸し出しにどのようにつながられるかが今後の課題です。